

漫湖水鳥・湿地センター

たよい No. 10

2004年4月20日発行



上:子どもたちに渡りに関する劇をする職員
右下:裏の草むらで集音器を使って・・・
左下:アメリカ国立公園レンジャーのグリーン氏とその息子さんと記念撮影

靖子ねえね(ムナグロ)

「ねえ、今日はとってもうれしいことがあるんだ。どんなことかなー？それはね、漫湖にめずらしい友達が出来てるんだ。さあ、みんなでよんでみようか。」

全員 — 「オーイ。」

※鳥になった米谷にいに羽をばたつかせながら、漫湖からセンター大型映像の前へ登場

米谷にいに(クロツラヘラサギ)

「やあ、みんなアニョハセヨー」

靖子ねえね(ムナグロ)

「あ。クロツラ君だ。君なんで韓国語なの？」

米谷にいに(クロツラヘラサギ)

「韓国生まれだからばあよ」

(今度は沖縄の言葉で)

・・・と、会話は続く・・・



漫湖水鳥瓦版 10

～3月の漫湖・北への出発～

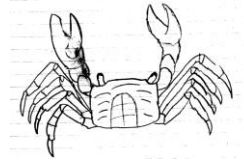
<野鳥情報>

	羽数
ササゴイ	1
ゴイサギ	2
ダイサギ	13
チュウサギ	12
コサギ	8
アオサギ	28
クロツラヘラサギ	5
コガモ	1
オナガガモ	4
ミサゴ	2
バン	3
シロチドリ	26
メダイチドリ	1
ムナグロ	358
ダイゼン	22
トウネン	4
ヒバリシギ	15
アカアシシギ	31
コアオアシシギ	3
アオアシシギ	62
キアシシギ	2
イソシギ	10
オオソリハシシギ	1
オグロシギ	1
ダイシャクシギ	15
チュウシャクシギ	7
タシギ	11
ユリカモメ	3
合計	651

3月の最多数(羽)

おもしろ

発見!



1. 「大きな魚を捕まえたぞ!」



3. ごちそう様でした。
でもなんだか首が重いよ

**3月31日：アオサギが大きなテラピアを
ゴクリッ!**
なかなか飲み込めず、途中苦し
そうでしたが、30分以上格
闘していました。
(写真：センター内大型映像より)



2. ぐぐ・・・くるしいよー
でも、せっかくのご馳走だ。
頑張るぞー!!

<つれづれなるままに・・・管理日誌より>

3月 2日：アオサギ天国!

3月 9日：「ホーホケキョ!」ウグイスのさえずり。春を告げてい
る? 沖縄はもう夏ですよー

3月 12日：正真正銘のムナグロ(夏羽)
が目立つようになった。
クロツラヘラサギも
5羽登場! うれしいな。

3月 25日：バンが捨てられていた
バナナを食べていた。
びっくり!



琵琶湖は、日本最大で生物多様性に富み魚類53種のうち11種、淡水貝類約50種のうち、20種が固有種である。鳥類は今まで約170種が記録され冬季にはコハクチョウをはじめ、ヒシクイやカモ類が約7万羽越冬するガンカモ類の重要な越冬地である。



琵琶湖水鳥・湿地センター

「琵琶湖」～日本最大の湖～

全国渡り鳥飛来地めぐり②

ラムサール条約には93年、湖の大部分が登録され98年、水質の富栄養化や景観破壊などの環境保全と管理問題について関係市町村6市15町で連絡協議会を設置し調整が行われている。

私は2年前、琵琶湖水鳥・湿地センターを訪れ66倍カメラによる迫力ある映像を見て、これはぜひ、漫湖にも欲しいと思った。このセンターのすぐ隣に88年、湖北町が湖北野鳥センターを設置し97年に設置された水鳥・湿地センターと併せて管理するため鳥類保護に詳しい同調職員を配置し入館者に対して熱意あふれる活動を展開した。センターを活かすためには中の職員の資質がいかに重要かを大いに学んだ。

(沖縄南部自然保護官 水野隆夫)



コハクナヨワの群れ

沖縄県探鳥地めぐり 3

「泡瀬干潟」

沖縄本島中部沖縄市に広がり、土日になると潮干狩りをする地元の人で大賑わい。そんな豊かな泡瀬干潟を今回は紹介します。

面積は約260ヘクタールあり、210種類の底生生物と125種類の野鳥が確認されています。シギ・チドリの飛来数は漫湖よりも多く、ムナグロの日本最大の越冬地です。15年のクロツラヘラサギ一斉調査では過去最高の3



撮影：又吉勇（沖縄野鳥の会）

羽が確認され、今年の3月10日には絶滅危惧種であるヘラシギが19年ぶりに1羽確認され、新聞等をにぎわしました。

泡瀬干潟は今、総事業費約650億円をかけて187ヘクタールを埋め立て、ホテルや運動競技場、人工ビーチなどを建設する計画がある。

今年8月に本格着工が予想されるが、反対の声もあがっている。

行事のお知らせ



初夏のウキウキ探鳥会

【日時】5/22(土) 13:00~15:00

【定員】30名(予約制)

【対象】小学4年以上(ただし低学年は保護者同伴)

【場所】センター集合後、漫湖周辺を散策

【費用】100円(保険料)

*雨天時はセンター内となります。

~漫湖水鳥・湿地センターオープン1周年記念 およびラムサール条約登録5周年記念行事~

みんなで考えよう! 見つめよう! in 漫湖

記念セレモニー

【日時】29(土) 10:00~10:30

【場所】センター前広場

*記念植樹などを行います。

漫湖観察ウォーキング&クリーンアップ (子供の部)

【日時】29(土) 13:00~16:00

【場所】センター集合後、漫湖周辺を散策

【定員】20名

【対象】小学生、ただし低学年は保護者同伴

【費用】100円(保険料)

*ゲームや生物観察を行って楽しく漫湖を学びます。
最後はゴミ拾いもしてさわやかな汗を流しましょう。

漫湖観察ウォーキング&クリーンアップ (一般の部)

【日時】29(土) 13:00~16:00

【場所】センター集合後、漫湖周辺を散策

【定員】30名

【費用】100円(保険料)

*漫湖周辺を散策しながら野鳥、植物観察。最後はゴミ拾いもしてさわやかな汗を流しましょう。

小中学生による漫湖に関する発表会 および寺田麗子先生講演会

【日時】29(土) 10:30~12:15

【場所】センター2F レクチャールーム

【定員】40名

【費用】無料

*地域の小中学生4組が漫湖に関する日ごろの学習成果を発表します。講評・講演は環境問題に取り組んでいるフリーアナウンサーの寺田麗子先生です。

バードカービング教室(2日間)

【日時】29(土) 13:00~16:00

30(日) 9:00~15:00

【場所】センター2F レクチャールーム

【定員】20名

【対象】小学4年以上で彫刻刀使用経験者
又は保護者同伴(2日間参加できる方)

【費用】1000円(材料費・保険料)

これからも
センターをよろしくね



セレモニー以外の各行事は、事前に予約が必要になります。

参加申し込み、お問い合わせは漫湖水鳥・湿地センターまで 電話:(098)840-5121

*日程・内容などは都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

平成16年度活動予定



漫湖 ～空と鳥と風と～ ふれあい行事

これからの沖縄を担う子供たちに漫湖の自然や生き物に興味や関心を持っていただければと思い、漫湖作文コンクールおよび絵画コンクールを開催することとしました。



第1回 漫湖作文コンクール

【課題】センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたこと

【応募資格】小学生（学校単位）

【応募方法】1,2年生の部 400字以内
 3,4年生の部 800字以内
 5,6年生の部 1200字以内
 一人1点。学校推薦。

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】最優秀賞（図書券5000円）
 優秀賞（図書券3000円）
 優良賞（図書券2000円）
 審査員特別賞（図書券1000円）

第2回 漫湖絵画コンクール

【課題】センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたこと

【応募資格】小学生・中学生

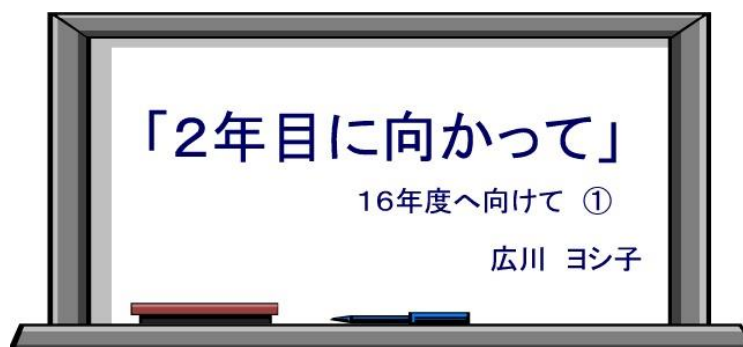
【応募方法】画用紙4ツ切、一人1点
 絵の具の種類は問いません。
 センターに郵送または、持参

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】漫湖大好き大賞（図書券5000円）
 生き物大好き賞（図書券3000円）
 ユニーク賞（図書券2000円）
 審査員特別賞（図書券1000円）

☆詳しくは、漫湖水鳥・湿地センターまでお問い合わせください。



事務所の窓ガラスを軽くノックする少年2人。

「今日は1匹しか釣れなかった」と、持って来たバケツを私たちスタッフに見せながら報告する。連れた魚をのぞきながら、しばし会話がはずむ。心がなごむひと時である。

さて、漫湖水鳥・湿地センターはオープン以来、幅広く多くの方々に見学利用されている。

通りすがりの人、この建物はいったい何だろうと、あたりを見回しながら入ってくる。総合学習の子どもたち、デイケアのお年寄り、県外の人、外国の人等……。

まさしく、多種多様な人間の表情をみることができる場である。それだけに対応に気を使うので、ストレスがたまる。

しかし、逆にいろんな方々に接すると言うことは、自己反省ができるということでもあると、近頃になって気が付くようになった。

また、思わぬ出会いもあり、大いに感動することもあった。

何よりも、元気づけられるのは、子ども達が望遠鏡での野鳥観察や大型カメラから映し出される漫湖の様子を見て、ウォーという歓声が上がった時である。

来館者の中には、見学が無料だから、何をしてもかまわないと言うマナーの悪い人もいる。

そういうことも踏まえて、何とか立ち上げてきたこの1年。それには関係者の並々ならぬご指導があったおかげだと深く感謝している。先立っての小禄婦人会の皆様のおかげの温かい励ましの言葉も本当にうれしかった。

新年度も当センターを通して、地域の皆様はもとより、多くの方々に漫湖に親しんでいただけるよう、私たちスタッフは、創意工夫、ジンブン*を出し合いながら、頑張っていこうと張り切っている。

漫湖は鳥のお休み処、そして漫湖水鳥・湿地センターはあなたのいやし処である。

今後共、よろしくお願ひします。



※ジンブン：沖縄で知恵のこと



「笑顔で楽しく！」

16年度へ向けて ②
宮城 靖子

「この鳥ダイシャクシギって言うんだよ。」常連の小学生が他の来館者にちょっと威張ってみたり、自分のお気に入りバードをつくり、「今日も見せてもらうよ」と尋ねてくるお客様がいます。

オープンして1年が経とうしていますが、来館者の変化が本当に楽しく、自分たちの仕事が人に伝わるうれしさを感じながら毎日を過ごしています。

去年は手探り状態で、あっという間に過ぎ去りました。何がなんだかわからなかったと言うのが正直な感想です。今年は、少し余裕も生まれると思います。何度来館しても飽きないセンターにするために、どうするべきか？楽しいと感じてもらうにはどうするべきか？課題は山積みです。



しかし、まずは楽しく仕事をする！そして楽しい場所作りをする！をモットーに今年1年も頑張っていこうと思います。

はじめまして



はじめまして。菜谷 保彦です。4月から当センタースタッフになりました。皆様、今後ともよろしくお祈いします。

私は以前観光系の専門学校にいたのですが、学生を漫湖に引率して来たときに、最初に出る言葉は「くさい」「きたない」でした。さらに「ここにこんなにカニがいるとは知らなかった」と驚く学生も多いです。興味のない人にとって、漫湖はただ広だけの風景なのでしょうか。沖縄の自然は青い海だけではないですよ。那覇のような大都会(?)の中にマングローブ林があること自体、県外から来たお客さんは感動していました。

自然に興味があってもなくても、ぜひ一度センターに遊びに来てください。そして新しい発見をして下さい。

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

< 団体利用状況 3月 >

保育園・幼稚園
小禄幼稚園 聖マタイ幼稚園
学童・子ども会
金武町子ども会
小学校
西原南小学校 6年生 とよみ小学校 4年生
中学・高校
岐阜東高校 2年生
その他の教育関係
中頭地区社会教育指導員連絡協議会 島尻教育事務所教育相談員
医療・福祉関係
なかまクリニック デイケアまわし
NPO 団体
JICA
その他
亜熱帯総合研究所 クロツラヘラサギ衛星調査事前会議 いたれりつくせり沖縄周遊3日間 (近畿日本ツアーリスト) 沖縄市婦人連合会 聴覚障害者協会 那覇市職員労働組合 与那原第1団ボーイスカウト 小禄婦人会

総入館者数

23,032 人

訂正：先月の総入館者数が間違っておりました。
16,847 人 (誤) → 21,134 人 (正)



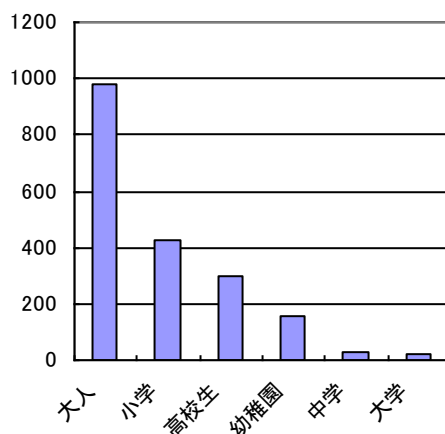
クロツラヘラサギの
クロン君

3月の入館者数

1,898 人

(うち団体 1,066 人)

< 年代別入館者数 >



< 市町村別入館者数 >

	市町村名	人数
1	県外	662
2	那覇市	519
3	金武町	140
4	豊見城市	133
5	西原町	79
6	沖縄市	63

新体制の漫湖水鳥・湿地センター! 気分を新たにセンター便りも、新しくなりました。あまり変わっていない??・・・これからの楽しみです!



宮城 靖子

< 漫湖水鳥・湿地センター >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/